

# ASTEO

SSP複合治療器 アステオ



## Sタイプ

### SSP療法器の継承と進化



患者様とより密接な関係を築くことが、これから医療で必要とされています。来院される患者様の多くは「痛み」を持ち、「痛みのケア」は新たなキーワードとなります。

アステオは「痛みの治療器」として誕生したSSP療法器を大きく進化させた治療器です。

MF多段波形とスワイープ通電の採用で、より高い鎮痛効果が期待できます。また導子の改良と視認性に優れたモニターにより、導子の取り扱いが楽になり、誤操作を防ぎます。今まで以上に使いやすく充実した機能を実感していただけます。



#### 高密度電流を作り出すSSP療法

**SSP**  
治療モード

Silver Spike Point therapy



#### 「鍼を刺さないハリ治療」

独特な形状の金属導子と波形を組合せているSSP療法は日本メディックスオリジナルの療法です。SSP電極は真鍮に銀メッキを施した金属製電極です。円座の中央部が円錐状の形をしています。先端部が密着する際に圧力が一点に集中するため、皮膚抵抗が大きい皮膚の角質が変形し、先端部に電流が集中するため治療点への高密度な通電が可能になります。

SSP療法とは円錐形状の金属電極を用いた体表面刺激療法。1976年大阪医科大学麻酔科と日本メディックスの産学共同研究より生まれました。「刺さない鍼治療」と呼ばれ、発表以来40年余り数々の基礎研究と臨床研究が行われペインクリニック、リハビリテーションといった痛みの専門分野から内科、産婦人科、小児科、歯科などの幅広い分野に広がっています。さらに鍼治療の本場、中国、韓国にも認められSSP療法は、世界各国に輸出されています。

MF、HV、MC、MCCが出力可能なパネルを片側に装着した**Hタイプ**、  
に装着した**Fタイプ**と治療形態に合わせた3タイプの本体を選択できます。

## Hタイプ

## Fタイプ

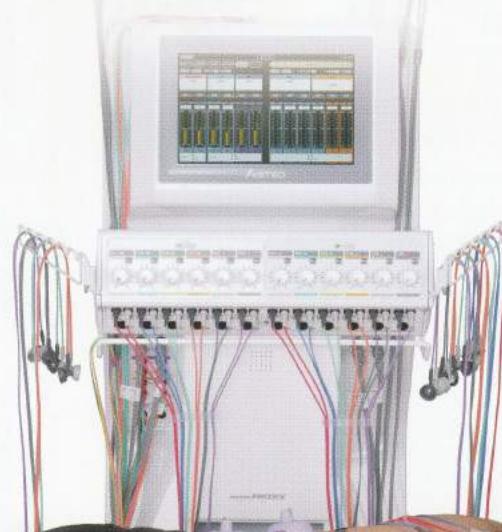
### 新たな複合器への転換



医療環境が目まぐるしく変化する中、よりスピーディーで質の高い治療が求められています。痛みの治療に限らず、創傷治癒、機能回復、日常生活への復帰まで電気刺激治療器の持つ役割は増えてきています。

アステオH/FタイプはSSP療法以外に中周波電気刺激療法(MF)、高電圧電気刺激療法(HV)、微弱電流療法(MC)、全身調整微弱療法(MCC)を装備して幅広い治療が可能になりました。またプロフェッショナル仕様でありながら今まで以上に使いやすく充実した機能を実感していただけます。

※MF、HV、MC、MCCを行うための導子セットはオプションとなります。



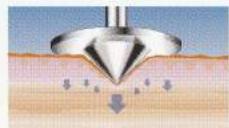
# アステオで使用できる多彩なモード



## SSP療法

### SSP電極のカタチ

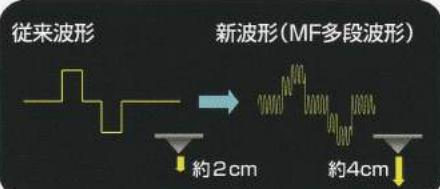
先端部が皮膚に密着する際に圧力が集中し、皮膚の角質層は薄く引き伸ばされ、先端部の電気的抵抗は低くなります。その結果、先端部に電流が集中するため、治療点への高密度な通電が可能となります。



### MF多段波形

#### SSP治療モードに新波形「MF多段波形」を採用

新波形は従来波形に100,000Hzの中周波を重畠させることにより20%の電流量アップ、また、到達深度は約2倍にアップしました。



新波形は従来波形より20%の電流量アップ、また、到達深度は約2倍にアップしました。

### デュアル通電

鎮痛の即効性と持続性を同時に作用させるためにチャンネル毎に高頻度刺激、低頻度刺激の設定が可能です。治療ポイントは高頻度刺激は局所(痛みのある箇所)、低頻度刺激は遠隔点(合谷、手三里など)に置きます。



## FP治療モード

### Pulse Stimulation

#### (パルス波刺激療法)

パルス幅150μsの双方向性対称波を用いて神経刺激による鎮痛効果が得られます。



### MF(中周波電気刺激療法)

2,500Hz～16,000Hzの中周波を用いて、100%・50%・バーストの3種類の正弦変調波による電気刺激で筋ポンプ作用などによる血行改善・発痛物質の除去等を効果的に行います。



## MC/MCC治療モード



### MC治療モード

#### 早期からの治療促進に

生体内に微弱な電流を通電させ、組織損傷の治癒促進や、細胞レベルでの代謝の活性化を促します。神経や筋を興奮させないため、運動後の筋肉痛の軽減や炎症の抑制などに期待できます。



### MCC治療モード

#### 全身コンディショニングに

MCC療法とは、全身調整微弱療法のことです。上下肢の4点から微弱電流を流すことでのメオスタシス(生体恒常性)を調整し、全身の細胞の活性化を促す新しい療法です。通常の電気刺激療法の後療法として活用していただくとより一層の効果が期待できます。



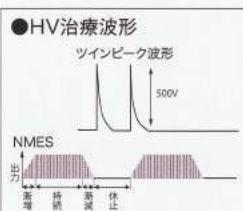
※アステオH/Fタイプのみ使用可。導子セットはオプション。



## HV治療モード

### 高電圧で筋の再教育などに

最大500Vの高電圧の電気刺激をツインピーク波形で瞬間に加える高電圧電気刺激療法は、皮膚インピーダンスの影響を受けにくく、電気刺激を深部組織まで到達させることができます。そのため、疼痛の軽減や血流量の増大、皮膚潰瘍の治癒促進などに利用されます。NMESモードの設定もできます。



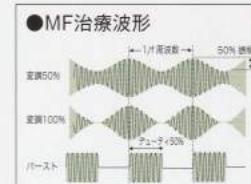
※アステオH/Fタイプのみ使用可。導子セットはオプション。



## MF治療モード

### 最大16,000Hzの中周波のちから

2,500Hz～16,000Hzの中周波を用いて、100%・50%・バーストの3種類の正弦変調波による電気刺激で筋ポンプ作用などによる血行改善・発痛物質の除去などを効果的に行う中周波電気刺激療法です。治療器本体内で変調波に合成し干渉波と似た刺激電流を得られ、2つの電極だけで治療ができます。肩や肘などの部位でも楽に導子が装着できます。NMESモードの設定もできます。



※アステオH/Fタイプのみ使用可。導子セットはオプション。

# SSP複合治療器は 急性期から慢性期までの あらゆるシチュエーションで 治療を行うことが可能です。



## SSP療法単独の治療

圧痛点、遠隔点を同時に刺激できるデュアル通電  
圧痛点には即効性のある高頻度帯と遠隔点には持続効果のある低頻度帯を使用します。



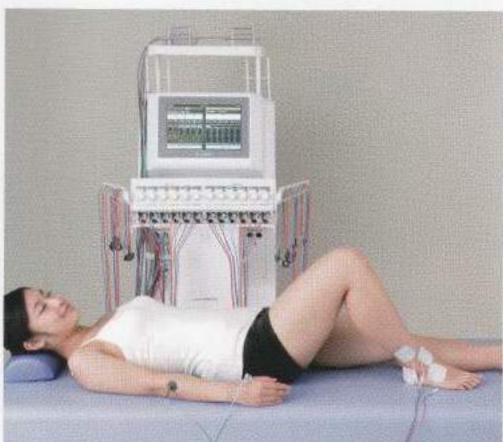
## SSP+HVの治療

圧痛点にはSSP療法を行いながら鎮痛作用を促し、痛みが原因で硬くなった筋肉や腱にHVで電気刺激を行い血行促進を促します。



## SSP療法+MCの治療

急性期の損傷部位には、疼痛緩和、創傷治癒の効果が期待できるMCと、SSP療法の遠隔点による全身に対する疼痛緩和を行います。



## HV+MFの治療

筋緊張緩和にはMFモードによる血行促進の改善を行い、同時にHVによる深部への集中した電気刺激により効果的に疼痛緩和が行えます。

